

市政情報

TOPICS 1

キッズパークの整備方針と 公園ルールについて (予算決算委員会・建設企業分科会)

奈良市には子どもたちが遊べる公園が少ないと、以前から指摘をされてきました。奈良市では公園マネジメント基本計画に基づき、子育て世代の親子が遊びやすいキッズパークの整備を進めています。令和5年度は柏木公園に第1弾が整備され、同時におむつの交換台を設けたトイレも併設されるなど子育て世代向けの環境整備が進んでいます。

令和6年度予算では、中登美ヶ丘近隣公園の測量設計業務委託800万円が計上されています。



柏木町の市子どもセンターに隣接する
柏木公園が23年に整備

CHECK!

委員会では、今後近隣公園等でキッズパークの整備を進めていく際、近隣の住民の声を聞きながら整備を進めていくことを求めました。また多くの利用者で賑わうよう駐車場整備も必要と意見をいたしました。

また、公園マネジメント計画では、公園内でのボール遊びが現状では出来ない等、利用上の制約が残っている現状を踏まえて、その今後の展開について尋ねました。公園緑地課としては、ボール遊びをすべて禁止するのではなく個別の公園ごとに地域等がボール遊びなどの利活用について安全に公園を利用できるようローカルルールを作成し運用することは公園管理者として認めており、第1号の公園の環境整備に向けて取り組んでいるとの答弁があり、引き続き利用しやすい公園整備を求めました。

TOPICS 2

Ⅲ判定の橋梁等長寿命化修繕が前進 (令和5年12月定例会・一般質問)

奈良市が市道として管理する橋長2メートル以上の橋は659あり、定期点検作業の中で4つの基準に分類され、特にⅢ判定橋梁(早期措置段階)Ⅳ判定橋梁(緊急措置段階)については早期対応が求められてきました。

令和6年度予算では大きく2つの橋梁が修繕対象となりました。

- 高の原橋** (88.3m 近鉄高の原駅改札口に架かる橋梁)
修繕等長寿命化工事委託1億円
(別途、令和6年度～7年度債務負担行為設定2億円)
- あやめ新橋** (85.3m 近鉄菖蒲池駅南へ直進、蛙股池に架かる橋梁)
橋梁架替工事2億円
(別途、令和6年度～8年度債務負担行為設定4億円)
橋梁架替工事に伴う現場技術業務委託2,500万円
(別途、令和6年度～8年度債務負担行為設定5,000万円)

※現年度予算については道路更新防災等対策事業費補助金の国費を充当



あやめ新橋は、あやめ池小学校へつながる
通学路であり生活道路

CHECK!

大規模自然災害が多発する傾向にある日本の国土のなかで、橋梁修繕が進むことは望ましいこととあります。あやめ新橋については確認できる限りでは、平成17年頃から議会で私を含め複数の議員が早期対応の必要性を求めてきました。

ただ、工事期間が複数年に及ぶことから、小学校へ通学する児童や生活道路として利用される市民が、工中に蛙股池を迂回する等の対応となってしまうのは、地域住民の理解は得られないと考えます。現予算では仮橋は予算計上されていないと伺っています。地域住民との丁寧な対話のもとで、工事に取り掛かるべきと意見しました。

市政報告 あをがき通信 Vol.21



夢づくり、
安心づくり、
奈良づくり

奈良市議会議員

太田こうじ



令和6年3月定例会のご報告

平素より私の政治活動に温かいご理解を賜り誠にありがとうございます。市議会では2月29日に議案説明が行われ、3月26日閉会日まで、約1か月間にわたり3月定例会が開会され、令和6年度一般会計予算をはじめ、各種議案の審査が行われました。

令和6年度一般会計予算は歳入歳出ともに約1,629億5000万円の過去最大規模が提案されました。

本会議、予算決算委員会では七条を候補地とする新クリーンセンターに関連する測量設計等業務委託費用など2億6,061万6千円をはじめ、その他事業費(裏面参照)を合わせて3億3021万円の事業費について

は4会派から減額修正を求める提案がされ、賛成議員多数で可決されました。

定例会では昨年末より公民館機能や総合福祉センターの機能再編を巡って、市民への丁寧な対話が重ねられていないことから、より丁寧な予算審査が必要との声があり、議会開会までに分科会ごとの予算説明会が計4日、予算決算委員会の審査は分科会ごとに2日設けられるなど、これまでになく丁寧な議案審査が行われました。今号では定例会の概要を紹介しています。市民の声を大切に引き続き議会活動に取り組んで参る所存です。

●経歴 昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒、関西学院大学法学部卒。
平成25年(2013年)7月より奈良市議会議員(現在3期目)
会派は自由民主党に所属、建設企業委員会委員。

●連絡先 奈良市議会議員 太田晃司事務所
〒631-0033 奈良市あやめ池南5丁目2-18
TEL: 0742-40-5015 FAX: 0742-40-5016
Mail: info@otakoji.net

太田こうじ公式サイト

これまでの市政報告はホームページの書庫からご覧いただけます。

<https://www.otakoji.net>



各種 SNS でも情報発信しています!



フェイスブック公式ページ
<https://m.facebook.com/otakoji.nara>



Ameba 公式ブログ
<https://ameblo.jp/otakoji-nara/>



フェイスブック公式ページ



Ameba 公式ブログ

3月定例会

3月定例会では、公明党、自由民主党、新世の会の3会派では下記の予算については議決することに疑義があるとして、減額修正予算を提案しました。この原案には維新の会も賛同を頂いたことから4会派での共同提案をさせていただくことになりました。

議決では、提案会派以外にも共産党会派も賛同をいただき、議長をのぞく36名のうち31名の議員の賛成多数をもって可決いたしました。

以下、その内容を紹介させていただきます。

TOPICS 1

減額修正は9つの小事業、計3億3,021万円

国際交流費	国際交流経費のうちオーストラリア渡航に関わる経費を削減	250万円
	国際発信事業費（【仮称】創造的文化交流事業2025-2027）を全額削減	4500万円
企画総務費	定住促進事業を全額削減	320万円
	東部地域振興経費のうちデジタル活用に向けた環境構築業務委託、デジタル端末を活用した会議の企画・運営業務委託を削減	5229万円
	奈良市ポイント制度事業を全額削減	1627万4千円
清掃総務費	クリーンセンター建設計画策定経費 クリーンセンター建設推進課の課事務経費のうち、ポスター・パンフレット等印刷費を削減、またクリーンセンター建設計画策定経費については令和5年度のクリーンセンター建設計画策定委員会委員報酬ならびに費用弁償のみ残す	2527万6千円
清掃施設整備事業費	クリーンセンター建設事業に関わる経費を全額削減 なおクリーンセンター建設事業環境影響評価等業務委託に関わる債務負担行為設定・令和6年度～9年度・2億円も削減	7534万円
観光振興費	観光振興事務経費のうち宿泊税に関わる予算を削減	33万円
道路橋梁新設改良費	新クリーンセンターに関わる測量設計等業務委託を全額削減	1億1千万円

削減した項目のうち、国費などを除く一般財源に関わる1億232万円を財政調整基金に積立てとなります。

なお、この財政調整基金約1億円については、物価高騰に対応した市立小中学校の給食食材費が追いついていないため、平均栄養量が文部科学省の学校給食摂取基準の650キロカロリーを下回っているとして（2023年11月は625キロカロリー）、その食材調達に活用するよう議長を通して、市長へ要望をいたしました。

要望活動は、本会議で減額修正予算に賛成した、公明、自民、新世の会、維新の会、共産党の5会派によって行われました。



5会派共同記者会見で説明された給食の現状

CHECK!

減額修正の対象となった新クリーンセンターについては、2月末に施設整備基本計画案の概要版が発表され、3月定例会後に、同基本計画の詳細が発表されました。

今回5会派が関連予算の認定は時期尚早とした論点としては以下となります。

●コスト比較

現在の清掃工場を今後10年間稼働させるための大規模改修費が140億円以上掛かるなかで（前号あをがき通信VOL.20をご参考ください）、概要事業費では450億円が見込まれているが、たとえば現地建替えも含めた比較検討が出来るようなコスト分析が行われていない。

●請願が審査中

市民から七条地区の建設に反対する請願書と、現左京地区からの早期移転を求める請願書がそれぞれ提出されており、委員会での審査中であること。

●移転候補地を審議する**クリーンセンター建設計画策定委員会での議論**が、正式な議事による決定という行政手続きを経て終結していない。

TOPICS 2

公共施設等総合管理計画は見直しの時期へ （3月定例会・一般質問ならびに行財政改革及び公共施設等特別委員会）

📍**太田** 奈良市公共施設等総合管理計画が2015年度に策定され、まもなく10年が経過をしようとしています。計画策定時に既存公共施設などの修繕が集中する期間を想定し、2054年度までの40年間と設定されています。

奈良市ではすでに学校、市営住宅、幼稚園ならびに保育園については個別の計画を策定しているのが現状ですが、残りの計画は個別計画を策定しているのか、大規模施設である環境清美工場、なら100年会館に焦点を当て、お聞きします。

📍**総務部長** 一般的に、環境清美工場のような廃棄物処理施設においては、稼働後、概ね20年で改修される事例が多いが、本市においては、現施設の稼働後20年経過時は、公害調停の申立てやその後の移転を前提とした市の取り組みなどを考えると、当時、大規模改修という選択肢は想定しておらず、早期の移転・建替に注力してきた経緯がある。

📍**市民部長** なら100年会館については、平成27年度に「なら100年会館大ホール他改修基本計画」を作成し、主に大ホールと中ホールの施設現状の把握と、今後に必要な改修、その概算工事費及び改修に必要な工期などについて整理を行った。その後、文化庁委託事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」を活用しながら助言を受けている。個別計画という形にはなっていないが、必要性の高い改修から順次対応を行っているところである。

CHECK!

10年前に総合管理計画が策定された際は、ファシリティマネジメント推進（以下、FM）の所管課が旗振り役となって、尽力いただいていた。ところが、この10年間で所管課は無くなり、財政課のなかの行革推進係が担う状況で職員体制は大きく削減されています。主だった施設の個別計画を早い段階で策定し、それら計画に基づいて適切な施設長寿命化施策を進めていくことで、もっと早い段階での大規模改修が行われていたら、140億円の費用が果たして必要だったか、想像するのは私だけでしょうか。

総務省からは令和3年度末をめどに計画の見直しが求め

られています。脱炭素化やバリアフリー化方針等、新たに記載すべき内容が示されていることから、残された個別施設計画の作成とともに、財政課に所管を設置するのではなく、平成26年当初のように公共施設を担当するFMを行う所管課の復活を求めました。

3月7日一般質問の様子は議会中継の記録でもご覧いただけます（質問は2番目です）。



TOPICS 3

平城京天平祭は中止へ （3月定例会・一般質問）

天平祭はこれまで名前を変えながらも、平城宮跡を活用した大規模事業として20年以上、県民そして市民に親しまれてきました。

直近では春・夏・秋の天平祭に加えて、冬の大立山まつりが行われていました。今年は、県が補助金を4つの事業から打ち切ることとなったため、これまで市が3,700万円の出資をしてきた春の天平祭について事業委託先の平城京天平祭実行委員会との協議の結果、中止が決定されました。

我が国の本格的な国家を形成した奈良時代を語り、次の世代に何を残していくかを考えるとき、世界遺産登録をされた平城宮跡歴史公園内において、これまで天平衣装による行列行事を行ってこられたことは、一定の意義があったと私は考えます。また少なくとも年に1度はこうした行事は継続されるべきであり、来年以降も実施されることが望ましいのではないかと意見しました。

なお県は今後、行政に頼らない民間活力で同程度の経済効果を生み出すよう検討するとのことですが、これまで県と市の両面から行政が補助し続けてきた手法については経済効果を含めて検証されるべきでしょう。



天平祭・春は奈良青年会議所メンバーとしてこれまで参加をさせていただいてきました。